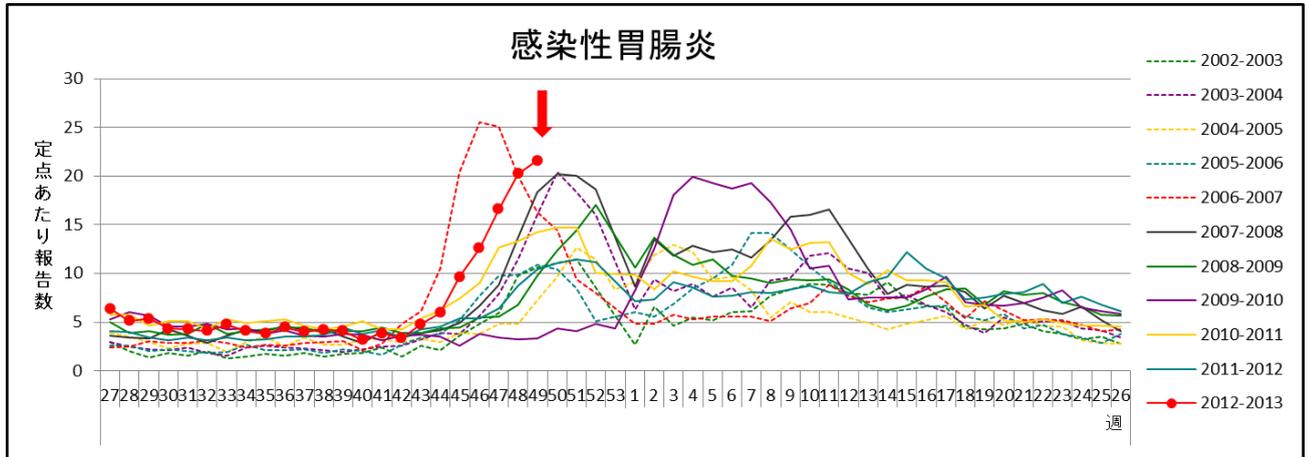


感染性胃腸炎情報 2012 年 第 49 週 (12 月 3 日 ~ 12 月 9 日)

- 岡山県内の患者報告数は 1,165 名 (定点あたり 21.57 人) で、患者はさらに増加しました。(54 定点医療機関報告)
- 岡山県全体、岡山市、倉敷市、備前地域、美作地域で、発生レベル3 になりました。
- 玉野市の小学校 1 校、津山市の幼稚園 1 園で感染性胃腸炎による学年閉鎖がありました。

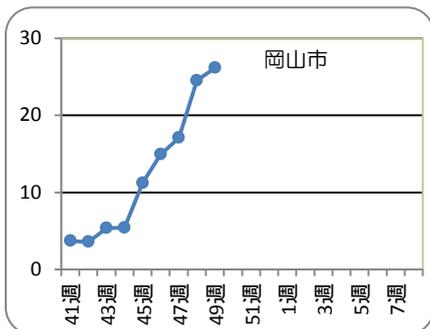


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、今週も増加しました (定点あたり 20.26 → 21.57 人)。過去 10 年では 2006 年の第 46 週 (25.54 人)、第 47 週 (25.11 人) に次いで患者数が多い状態であり、大きな流行になっています。

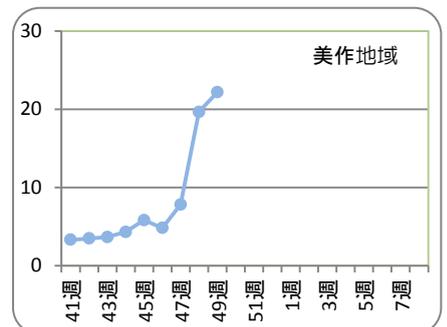
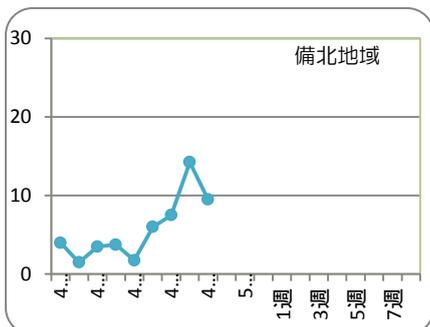
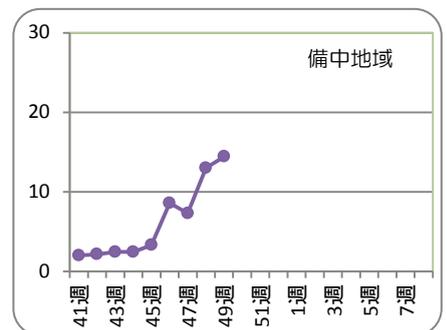
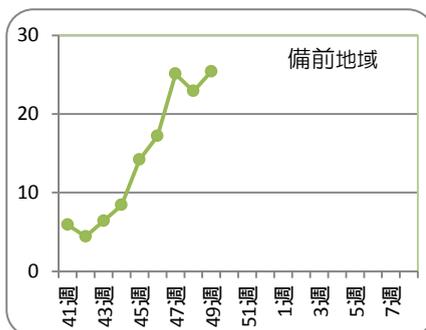
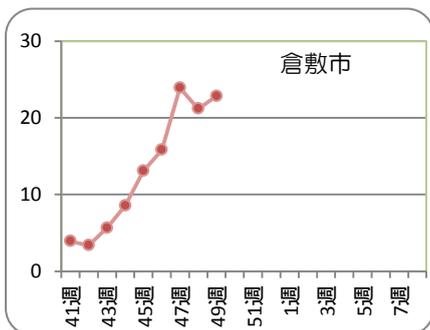
玉野市、津山市の各 1 施設で感染性胃腸炎による学年閉鎖がありました。また、ノロウイルスが原因と思われる食中毒も報告されるなど、県内全域で流行が拡大しています。

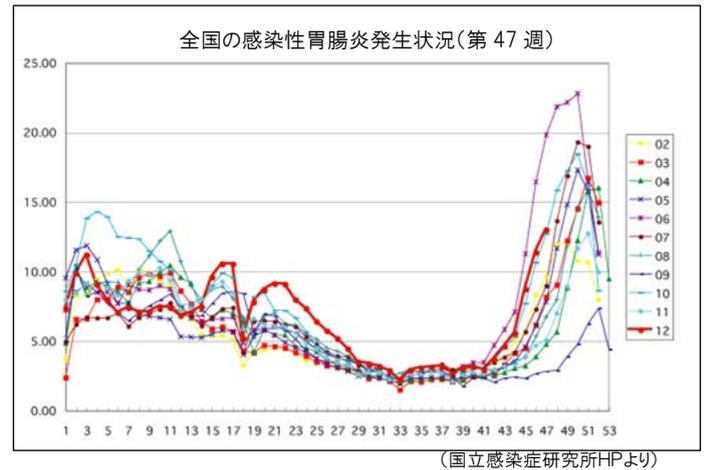
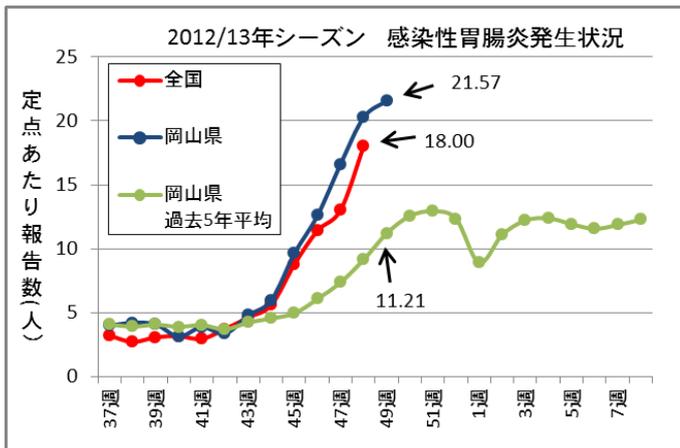
◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、多くの地域で患者が増加し、岡山市 (24.50 → 26.14 人)、倉敷市 (21.18 → 22.82 人)、備前地域 (22.90 → 25.40 人) で、大きな流行が発生したと思われる発生レベル 3 が継続し、今週新たに美作地域 (19.67 → 22.17 人) でも定点あたり患者数が 20.00 人を超え、県内でレベル 3 の地域が拡大しています。

年齢別では、1 歳以下の乳幼児が 21% で最も多く、5 歳以下の幼児で 55% を占めています。また、小学生・中学生に該当する年齢層でも患者が増加しており、学校での集団感染が懸念される状態です。





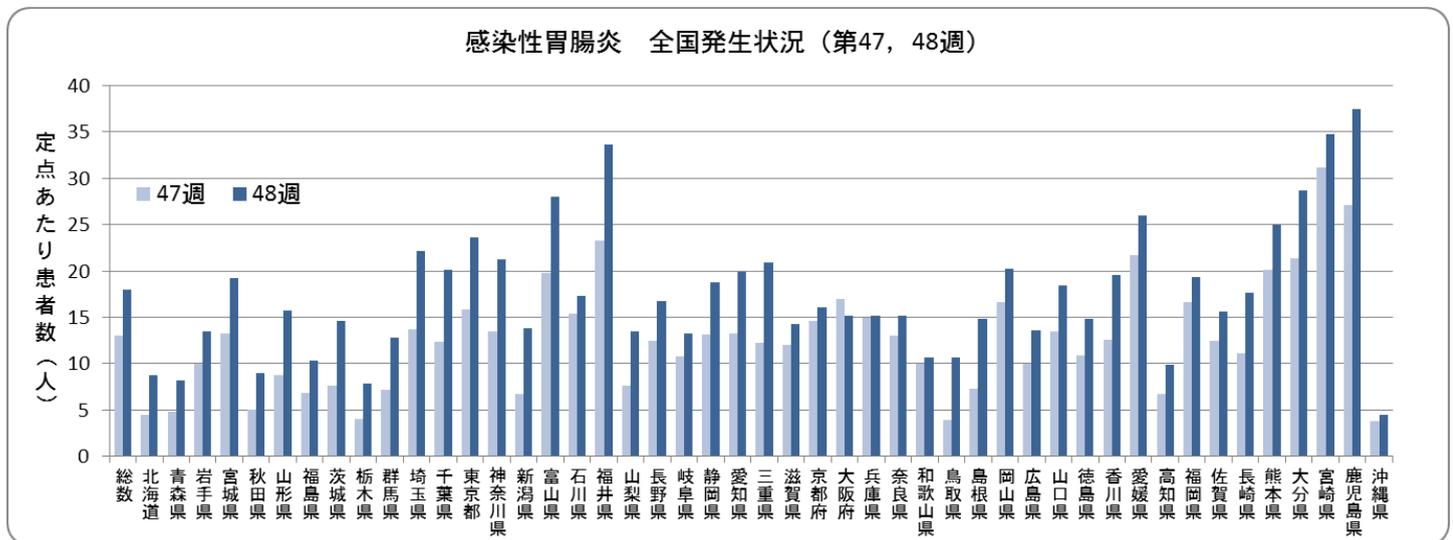
今シーズンに全国各地で検出されたノロウイルスの遺伝子解析によると、従来とは異なった抗原性を有すると推測される新たなGⅡ/4変異株が2012年10月以降全国各地で検出され、流行の主流になっているという報告もあります。岡山県では食中毒患者からノロウイルスが検出されていますが、詳細については現在解析中です。

この時期の感染性胃腸炎の主な原因であるノロウイルスの感染予防は、流水・石けんによる手洗いの励行と、吐物や下痢便の適切な処理を行うことが極めて重要です。排便後や、調理・食事の前には手洗いを励行し、吐物や下痢便を処理するときは、処理する人自身が感染しないよう気をつけましょう。消毒には85℃で1分以上熱湯消毒するか、塩素系消毒剤が有効です。アルコールは消毒効果が低いとされています。

通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

[ノロウイルスに関するQ&Aについて\(厚生労働省\)](#)

[注意！この冬はノロウイルスに注意しましょう。\(厚生労働省\)](#)

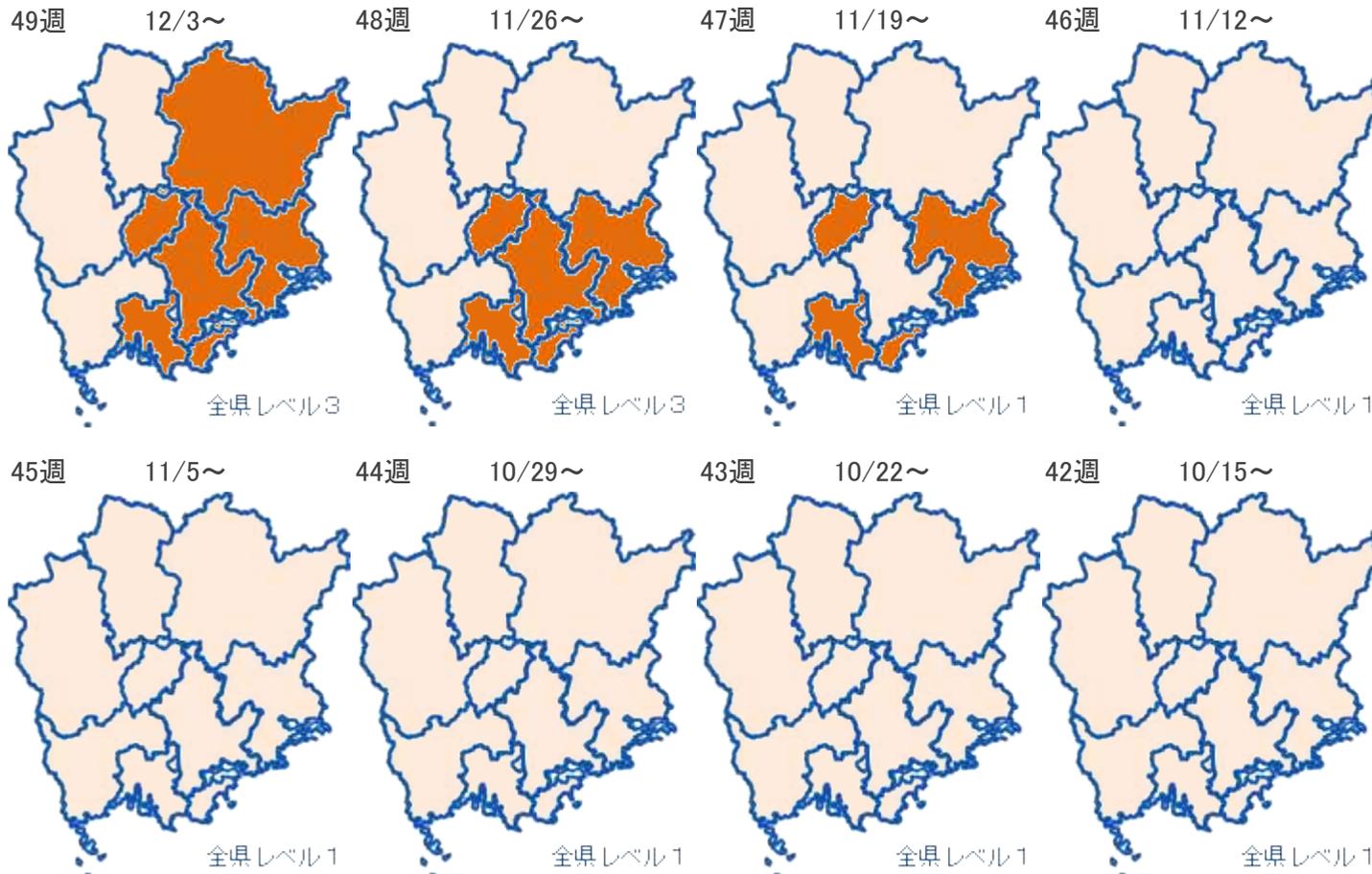




岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2012年 49週

2012年12月12日

10:17:41



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。